

二部

必勝攻略

徹底分析



二部へと降格した駒大。確実に圧倒的な勝利で一部へと返り咲いていくために今後試合をする相手を分析。そのなかでも特に、注目すべき相手をピックアップしていく。写真下に駒大スポーツ編集部が独自に五つ星で危険度を評価。今後のリーグ戦の糧にしていきたい。



昨季、念願の一部昇格を果たしたものの、一部の荒波の中で思うようなプレーができず、再び二部へと戦いの舞台を移した青山学院大学。しかし最終節では駒大に対してロスタイムの逆転劇を繰り広げたことから、秘めたポテンシャルは侮れない。一部の強豪校を相手に粘り強く勝機を模索し白星を飾るその精神力は並大抵ではない。反面、そのプレーは好不調の波が激しく、大量失点に涙をのむことも多い。失点がかさむ試合は、OF陣の決定力不足でチームが波に乗れず、中途半端な攻撃が敵チームにチャンスを与えてしまうことから始まる。今年はエース関修平が抜けることで、さらに得点力に不安を抱えることになる。その穴を埋めつつチームを安定させなければならぬ青学大の課題は多い。試合を有利に進めるには、まず前主将林堂が抜けたDF陣を統率し、確実に攻撃の芽を潰していくことが鍵となるだろう。

HOSSET



昨季を5位という形で終えた東洋大。全体を通して失点が目立つが、ロスタイムの逆転劇を演じるなど、試合が劣勢であろうと最後までボールに食らいつつくる驚異的な精神力のあるチームだ。守備にいささか不安があるチームなので油断せずに最後まで、駒大の速いサッカーで翻弄すれば十分勝機がある。また、得点力も高くないので、しっかりとしたDFの統制が取れば問題ないだろう。



昨季、惜しくもあと一步のとこで一部昇格を逃した法政大。二部残留チームの中で最も危惧すべきチームだろう。得点力が高くミドルからも積極的にゴールを狙う・パスやドリブルを織り交ぜた多彩な攻撃が持ち味だ。勝利の鍵となるのは、駒大の縦に速いサッカーで前半から積極的にゴールを狙い、相手をリズムに乗せないことだ。特に法大は後半から大量得点を奪うパターンがよく見られる。DF陣だけでなく、前線からの速いプレスで攻撃を潰していくことも必要になってくるだろう。